

堂津岳は遠かった・・・

頸城

## 奉納山

検索しても記録がほとんど出てこない、  
地元の人も首をかしげる地味～な山、奉納山。

【日程】

2019年1月13日(日)  
～1月14日(月)

【メンバー】

星野(シ)、松本

【地形図】

湯野上

【記】星野

1月13日(日)：曇り、時々晴れ間

はるばる来ました。高速バスと大糸線と、路線バスを乗り継いでこの地味な山に登ろうなんて、私達くらいのものでしょうか。松本さん、よくぞお付き合い顶けました。

この時期は小谷温泉前の、大風下バス停が終点となる。取り付く予定の尾根は、スノーシェットの出口、フェンスの切れ目あたりからなのだが、良く見れば上部がかなり立っている。ちょっと大変かも、と相談の末に、少し先のなだらかそうに見える尾根から登ることにした。

道路脇の除雪の壁から這い上がる。なだらかそうとはいえ、奉納山まで、標高差750m、上部は地形図からは急に見えるし、途中の岩記号も少し気になるが、はたして。。。

積雪はそれほどでもないが、ラッセルの苦しい登りが続く。二人で交換しながらジワジワと高度をあげる。

今日は、気温が高いために暑くて暑くてどんどん薄着になり、水の消費も早い。尾根の形状が明瞭になって来るとどんどん細くなり、950m付近の岩記号地点は、やはり細い岩尾根に雪がふんわり乗った難所になっていた。

崩れそうな雪壁を木をつかんで登り

細い尾根を、慎重に歩く。緊張感が全身を包む。落ちたら、ただじゃすまない。。。

短い区間ではあったが、無事に通過できてホッと、少し先の平らな場所で休憩をとる。

しかし、まだまだ、奉納山の直下が、標高差200mほどの今日最大の急斜面だ。

静かな雪山に、私達だけの雪を踏みしめる足音が響く。風もなく、視界も良く、こんな穏やかな天気に登れることに感謝をしたい。

少しづつ傾斜がきつくなり、短いピッチで先頭を交換しながらラッセルで進むが、きつい。見上げると、これは。。本日最大の急斜面。これを登るのかいな～。

スノーシューの先端を斜面に蹴り込んで、膝で雪を押し込み、木をつかんで一歩足を上げる。これを繰り返すが、私は、10歩進むと息が切れる。松本さんが短く交代しようと天使のような言葉にありがたく変わってもらうが、松本さんは強くて、ずんずん先へとトレースを伸ばしてくれた。さすがです。後ろ姿が、カッコ良いです。こういう難所の処理、先輩方は本当に強いです。



大風下バス停から奉納山

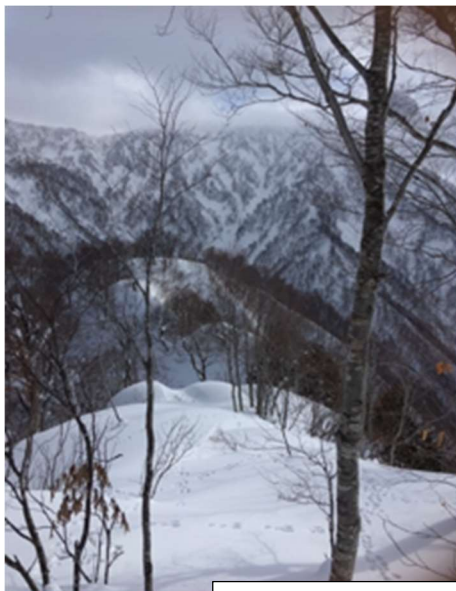
奉納山までは、よじ登ったり、くぐったり、迂回したりの難所が、けっこう長く続いた。  
 まだかな～早く稜線に出ないかな～と上を見上げれば、左から登る予定だった尾根が合流して来た。  
 やった！あそこが、稜線だ。

稜線に出ると、先ほどの急斜面が嘘のように、穏やかで美しいブナ林となっていた。たくさんの  
 ウサギの足跡が入り乱れ、彼らの遊び場のような。びよびよん飛び跳ねて喜んでいる様子が目に見  
 える気がする。

必死で藪をかき分け、時に悪態つきながら、汗だくてラッセルしていたのに、今はこの静かで  
 美しいブナ林に、心は穏やかに凪いでいる。

山頂まで、気持ちの良いブナロードを歩く。いたるところに、素敵な幕場も目について、段々  
 ここに泊まりたい誘惑が強くなる。

とりあえず、山頂まで行きましょね。



ガスがかかる堂津岳

1月14日（月）晴れ

本日も良い天気だ。今日は、奉納山の南西尾根を縦走するが、地形図ではかなり細く見える。  
 まず、大きく下る。途中で積雪の下に穴に頭まで落ちて、必死で這い上がる。ああ、トラップ。  
 細尾根は、やはり雪庇が張り出し雪壁となっている。しかし、厄介な雪庇は出だしだけで、この先  
 は見た目より歩きやすい尾根だった。

しかも快晴で、青空の下白く輝く後立山連峰のカッコ良い姿が、ちょいちょい見えるのが嬉しい。  
 天気の良い日の雪山歩きは、楽しいな～。今日は難所もなさそうだし。などと能天気歩いてたら  
 崖のように切れ落ちた急斜面が現れた。おっと。バックステップで慎重に降りる。

山頂からは、ドカーッとそびえる堂津岳がはてしなく遠くに見えて、言葉をなくし、立ち尽くす。

「あれは・・・無理だね。」

予定では、一度200ほど大きく下り、そして400mほど登り返すのだが、現時点で14時を過ぎている。

やはり厳しい。

では、サブプランの奉納山南西尾根縦走に切り替えることにしよう。

そうと決まれば、先ほどの幕場にいそいそと戻る。明日の尾根の下見も忘れずに。

夕食の鶏団子鍋をつつきながら酒を飲んで、就寝。風もない穏やかな夜だった

そこから先は、難所もないが、長い。。同じような景色が延々続く。すると、何だか林道のような道に出たので、予定の尾根ではなく林道を辿り、奉納集落に下山することができた。

タクシーを呼んで、南小谷駅へと戻ったが、運ちゃんは「奉納山？それどこ？」と衝撃の一言。南小谷駅で蕎麦と、りんごの天ぷらなるキテレツなものを味わい、あずさで帰京した。

【行程】

1/13 (日) 8:00 大風下BS~14:00 奉納山~14:30C1

1/14 (月) 7:30C1~12:30 奉納集落



後立山連峰が見える！

奉納山概念図  
2019. 1月13日、14日

